

Illustrator でスタイル画を描く。

レイヤーパネルを上手く使う。



オートスクロール/ズーム
・レイヤー切り替え
・ブラシサイズ
・キャンバスの回転

塗りブラシを使用してスタイル画を描く際にはペンタブ本体のタッチホイールの切り替えボタンを押しブラシサイズに変更しておけば手でブラシの大きさを自由に調整可能となる。

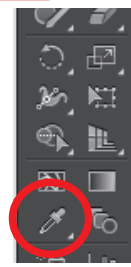
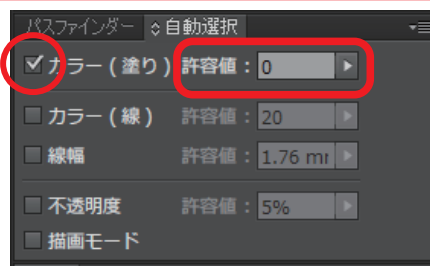


スタイル画を描く際に重要な事。

1. 線画は必ず同じ色で描く。

同じ黒に見えてもカラーパネルの数値が微妙に異なってしまう場合がある。もし描いているうちに異なる色になっていた場合は自動選択ツールをダブルクリックして自動選択パネルを表示させカラー（塗り）にチェックを入れ許容値を 0 にした後自動選択ツールで下絵の一部を選択する。

スポイトツールに切り替えて選択されていない下絵の黒の部分を選択すると下絵の黒が選択されていない方の黒に統一される。



この作業が面倒な場合は自動選択ツールで許容値の数値を上げて黒部分を選択する。近似色の黒が大抵選択されるのでその後ツールの？マークになった塗りをカラーパネルから任意の黒に変更すれば、全ての黒がカラーパネルで指定した黒になる。

2. 着色の色も近似色は極力統一する。

例えば肌の色などはベースとなる色＋シャドウ＋ハイライトの計 3 色程度でも十分である。

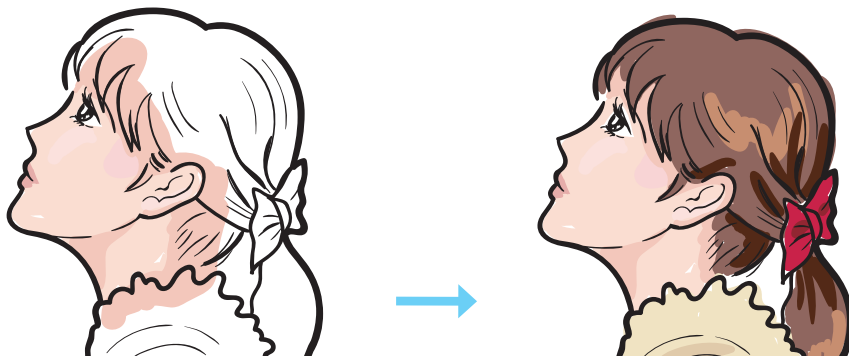
色数を少なくするのは描き上がった後に肌の色を変更したい場合などは、自動選択ツールで選択すれば同色を一気に選択できるのだが、この時許容値を上げてしまうと陰影部分まで同時に選択される場合があるので、着色の場合においては色数を少なく、自動選択の許容値は 0 で選択するのが間違いを少なくするポイントである。

以上を踏まえた上でレイヤーパネルの位置関係を考慮して着色していけば Illustrator でのスタイル画作成は非常に簡単なものであり、色変更、修正等、瞬時に行うことができるのである。

レイヤーの位置関係を考えて着色する。

レイヤーパネルの各レイヤーの順序は基本的に上に位置するレイヤーに着色した物が絶対的に手前に見える状態となる。線画を最も上の位置に置けば下のレイヤーにどのような色に着色しても線画が見えなくなることはない。各レイヤーをどのような位置に配置しても良いが最も分かりやすい例として服を着ている順序で配置した。

例えば肌を一番下に配置するメリットとしては大まかに肌全体を塗り上のレイヤーに髪の毛を描けば肌のレイヤーに肌を塗る際にそれ程繊細な作業は必要としなくなる。



かなり大まかに塗っても上に重なるレイヤーによって下のレイヤーを覆い隠す事ができる。